

荒川岳縦走

期 日： 8月12日(日)～15日(水)

コース：

8/12 5:00 鳥倉駐車場出発→5:45 鳥倉登山口→9:00 三伏峠小屋→9:30 雨宿り後出発→10:25 烏帽子岳→11:15 前小河内岳→12:00 小河内岳避難小屋（泊）

8/13 6:00 出発→6:05 小河内岳→8:20 板屋岳→9:15 高山裏避難小屋→11:25 小広場→雷のため岩陰にて停滞（20分）→13:10 荒川前岳→13:20 分岐→14:10 荒川小屋（泊）

8/14 6:00 出発→7:55 荒川中岳→9:30 荒川東岳（悪沢岳）→10:20 丸山→11:30 千枚岳→12:00 千枚小屋（泊）

8/15 5:15 出発→7:00 清水平→8:00 小石下→9:20 吊橋（新）→9:45 榎島ロッヂ

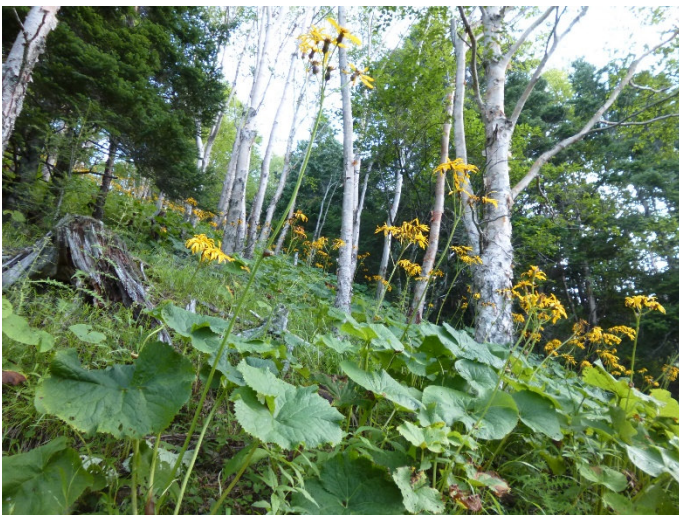
参加者：TA、YK



鳥倉駐車場ゲート さあ出発！



鳥倉登山口

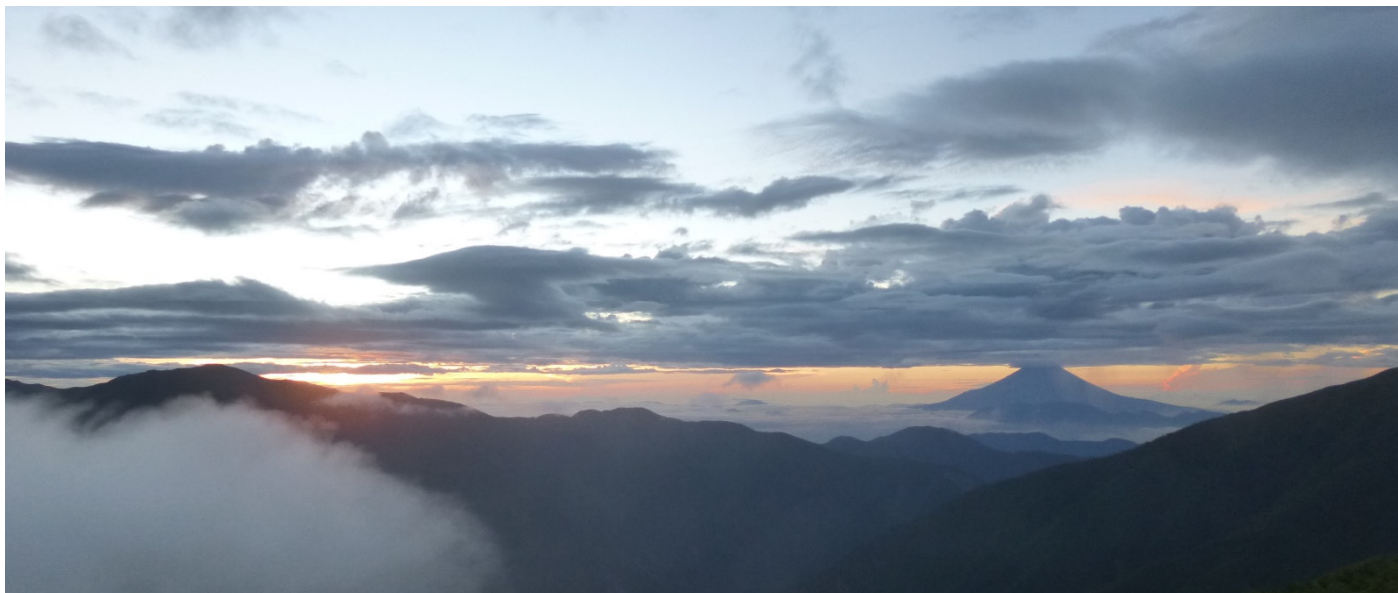


マルバタケブキの群生



三伏峠小屋の手前から突然の大雨

三伏峠小屋でしばらく雨宿りするが、あきらめて出発。烏帽子岳、前小河内岳も全く展望無し。三伏峠小屋から南下したところのお花畑はタカネマツムシソウの大群落で感動したが写真は取れず。雨の中小河内岳避難小屋に早々に到着し、本日は予定通りここで宿泊。小屋番がとてもフレンドリーで楽しく泊まれた。



小河内岳避難小屋から見た夜明けの富士山

夜半から早朝は雲が切れ展望が開けた。しかし、10時を過ぎると積乱雲の発達により雨が降り出す。これは、全日程で毎日同じパターンだった。



小河内岳避難小屋を出発



小河内岳



やっとタカネマツムシソウの写真が撮れた



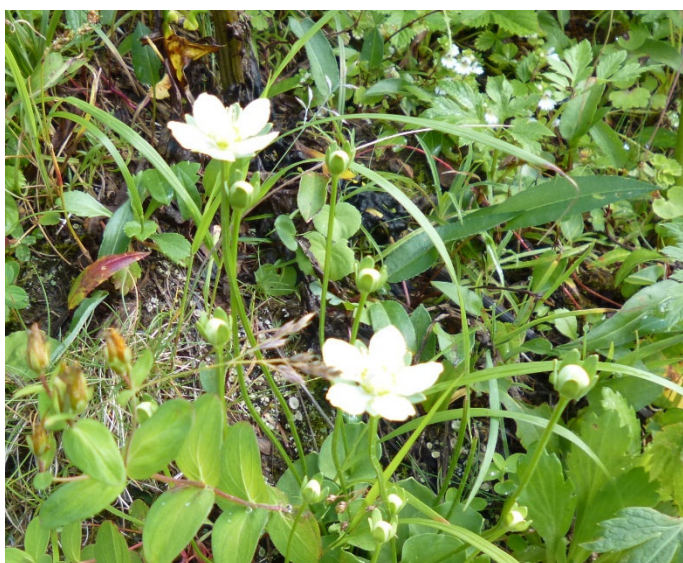
瀬戸沢ノ頭から北東を見る



ヒメシャジン



アキノキリンソウ



コウメバチソウ



キバナノミヤマオダマキ



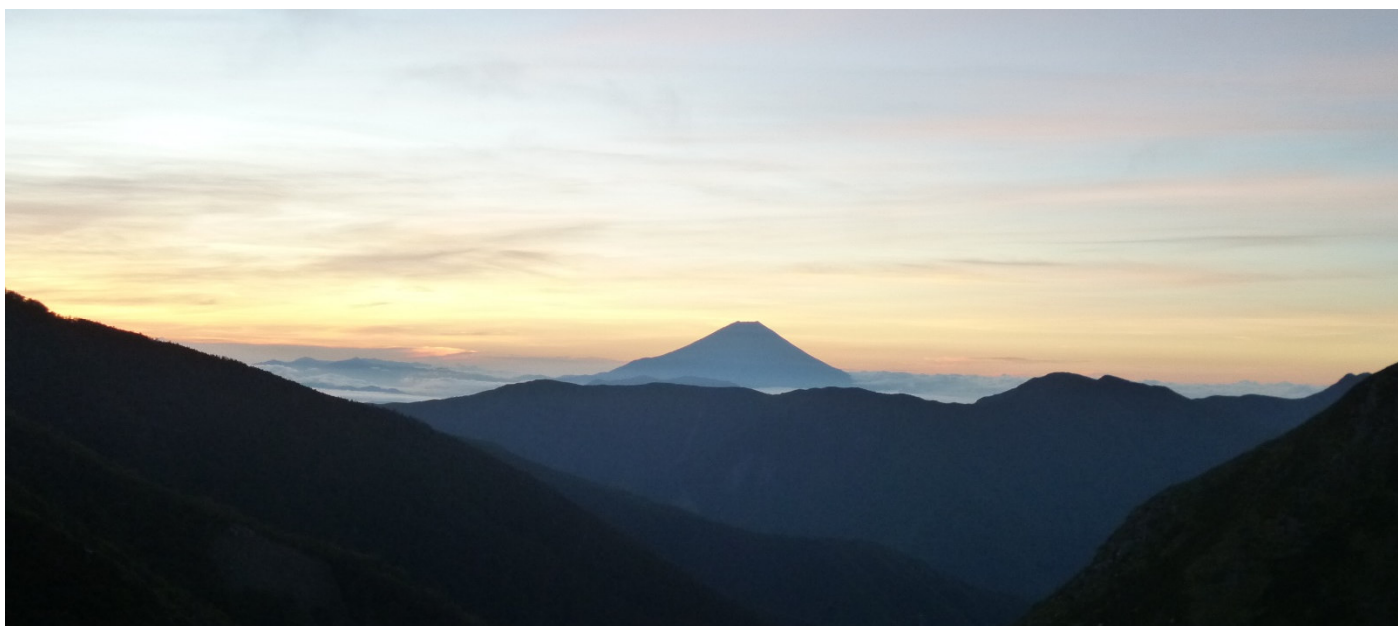
高山裏避難小屋



荒川前岳

11 時をまわり森林限界を超えて荒川前岳へのガレ場の急登に入ると雲行きが怪しくなってきた。小雨が降り出し、だんだん大降りになる。雷が鳴りだし、音は真上に近づいて来た。閃光は見えない。岩場が始まる大岩の陰で 2 名の先行者が停滞しており、我々も従う。この上方には危険

なやせ尾根もあるそうだ。さらに2名の熟練者が合流し、30分ほど待機したのち、熟練組の先導に従って尾根に上がる。無事に荒川前岳山頂を踏み、本日泊まる荒川小屋へ下った。



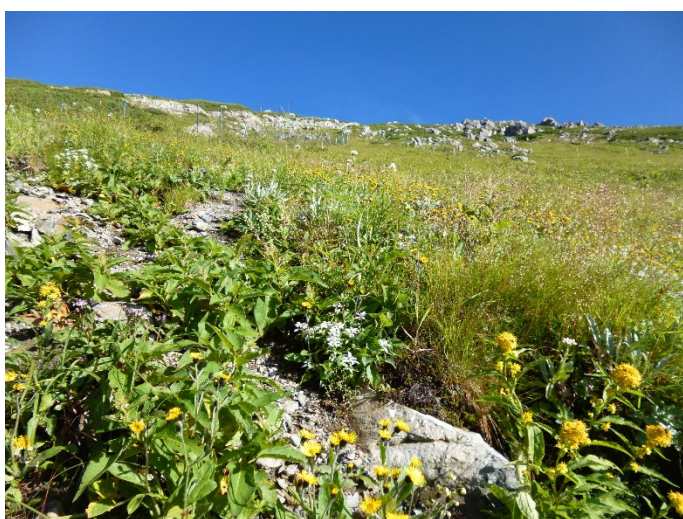
荒川小屋から見る夜明けの富士山



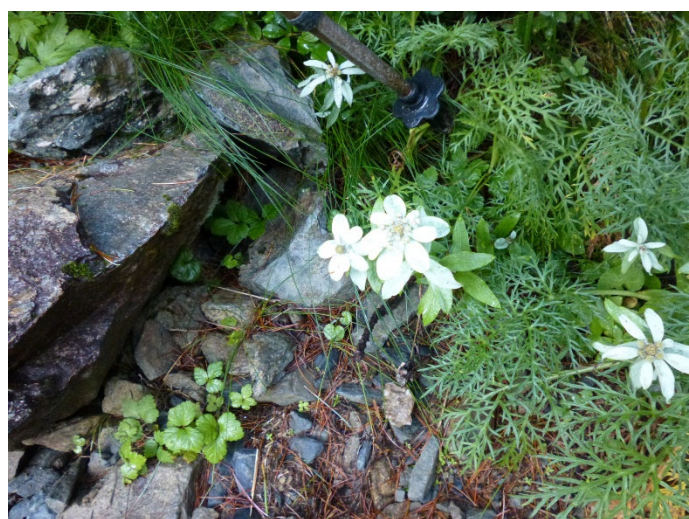
本日登る荒川中岳方面



荒川小屋出発



荒川小屋から稜線までの斜面は一面のお花畑
動物の食害を防ぐ柵で保護された区域もある



ミネウスユキソウ



南方にそびえる赤石岳（中央）と荒川小屋（右）



カール地形



荒川中岳山頂 背景は悪沢岳



悪沢岳と富士山 左に中岳避難小屋



さあ、悪沢岳へ！



タカネナデシコ



荒川東岳（悪沢岳）山頂



丸山方面へはこんなガレ場



丸山は周囲の荒々しい岩山に対してなぜかここだけまあるい山。やっぱり 10 時を過ぎるとガスって来ました。このあとやっぱり大雨に。



ミヤマシシウドと
ミヤマトリカブトのお花畑



ミヤマシシウドとタカネナデシコのお花畑



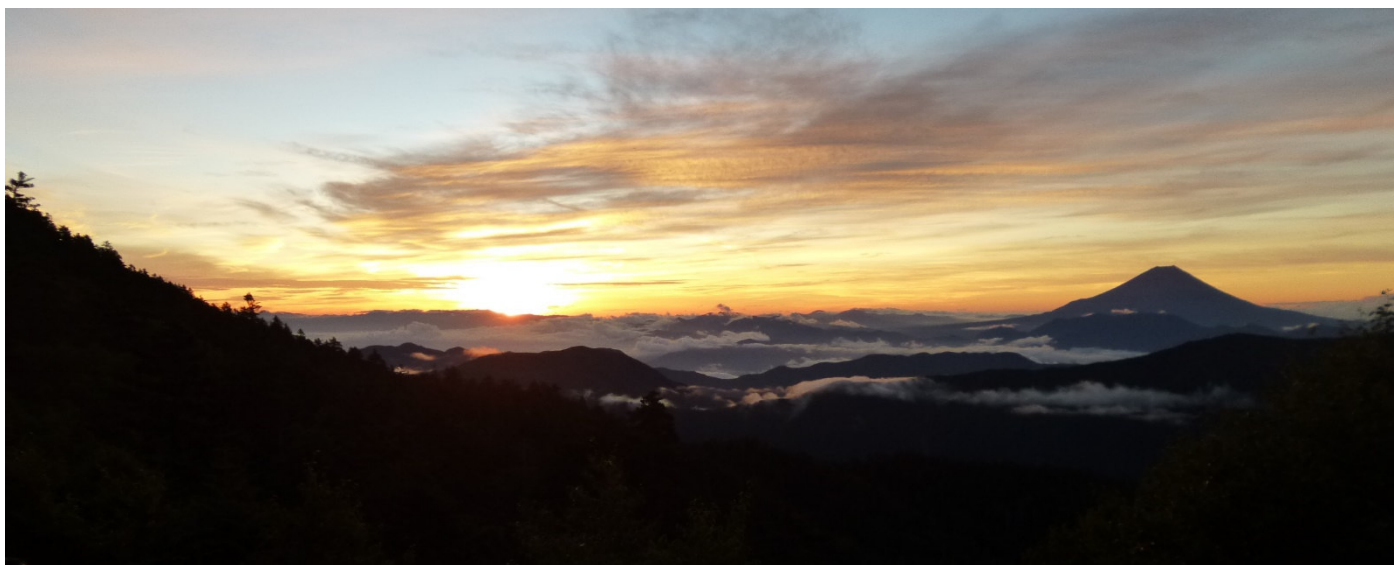
タカネピランジ



千枚岳山頂



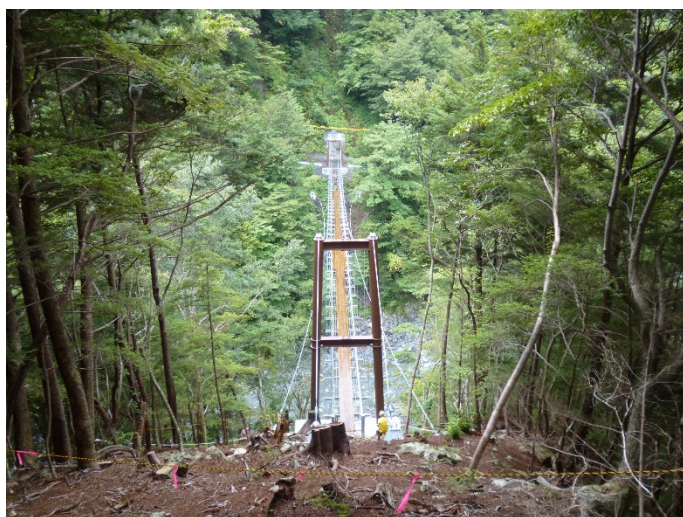
雨の中、本日の宿、千枚小屋に到着



千枚小屋前から夜明けの富士山を見る



シラビソの樹林帯を下る



新しい吊橋

標高 1500m を切った小石下からの道が樹林帯の登山道から一転して厳しい岩場のアップダウンとなり、途中から昨年の山と高原地図とは違った新しい道となって、ガシタ急坂を降りて行くと突然新しい吊橋に出た。

この日もやっぱり、晴れ間は早朝のみ。8時半を過ぎると雨がパラパラ。何とか、雨合羽を着るまでもない程度で榎島に 10 時前に到着することができた。



新しい吊橋



榎島ロッジ到着！

以上